

67名の受講者が船来山古墳に葬られた人々に迫る！

平成25年度春の歴史文化探訪セミナーを開催しました

6月9日（日）に「骨が語る 古墳に葬られた人々」を開催しました。

橋本裕子さん（京都大学霊長類研究所）から、船来山古墳から出土した骨をもとに、最新の説をお話しいただきました。



32名の児童生徒と35名の受講者、計67名が船来山古墳群に葬られた人々に迫りました。

企画展で展示中の船来山古墳出土人骨を見学し、先生の人骨模型を体験しながら楽しく学習しました。

出土した大腿骨（だいたいこつ）の観察によって、馬に乗っていた人（武人の豪族）ではないかという説をお話しいただきました。



最新の成果で、船来山古墳の人々が、生きていた時にどんな人だったのか迫りました。小学生の受講者も、熱心に質問するなど、大人に交じって学習しました。

講義の後は、先生の人骨模型に実際に触れさせていただき、講義を聞いて思ったことなどを、先生に質問しました。人骨模型はなかなか触れる機会が無いため、受講者から大人気でした。

講義の中では、出土した大腿骨（だいたいこつ）を詳しく紹介いただき、馬に乗った証拠の部分解説いただきました。人体模型の足の骨を実際に触れて、受講者は証拠の部分を確認しました。聞いたお話を、すぐに実際に触れて確かめたことで、大変良い勉強となりました。